

静岡市の都市計画道路

～はじめての見える化～



静岡市 道路計画課

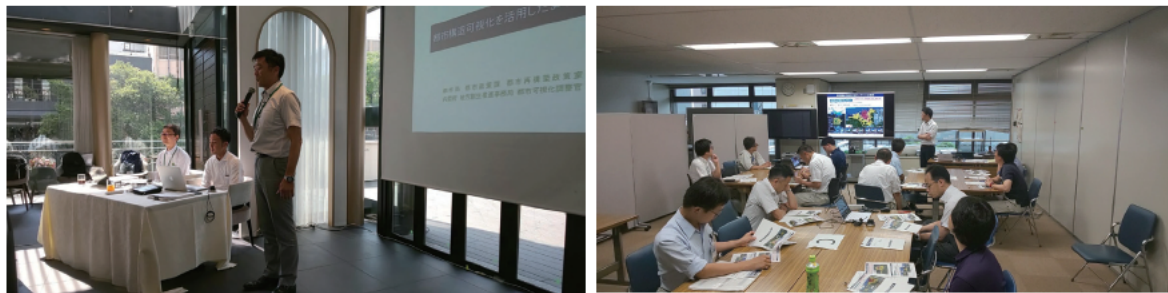
i-都市交流会議2020

1

1. 都市構造可視化研修会への参加→課内共有

道路部署なのに、なぜ参加?? 『みちづくり』は、『まちづくり』です。

とても素敵な研修会場を中部地整さんに用意してもらいました。研修会を終えて早速、課内に周知しました。可視化サイトを知っている職員はおらず、課内の職員一人一人に実際にPCを操作し、活用方法について話し合いました。



11月に都市計画ビジュアルコミュニケーター検定を受験しました。(合格発表は1月…)

i-都市交流会議2020

2

2. 課内共有→全庁的に発展

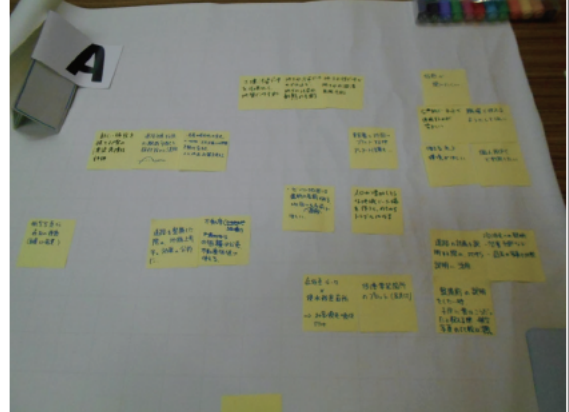
課内周知に止めず、全庁職員を対象に研修を開催し、グループワーク形式で活用方法の検討を行いました。

要望等

・自転車に関する事項（通勤通学利用率等）、空き家率、空き地、有権者数、医療機関の利用圏、スーパーの利用圏、災害危険個所と人口

課題等

・市政PCではGoogleEarthが利用できない、仮想空間で使いづらい、GISソフトが色々あって困る等



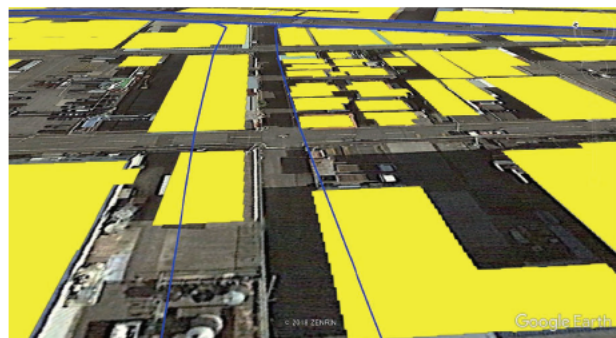
i-都市交流会議2020

3. ワークショップや日常業務で活用

市民向けワークショップで可視化サイトを紹介し、本市の都市構造を説明しました。

また、都市計画道路と建物（都市計画基礎調査）をインポートし、可視化しました。

- ・都市計画道路の支障物件を確認。
- ・地権者に拡幅のイメージを伝える。



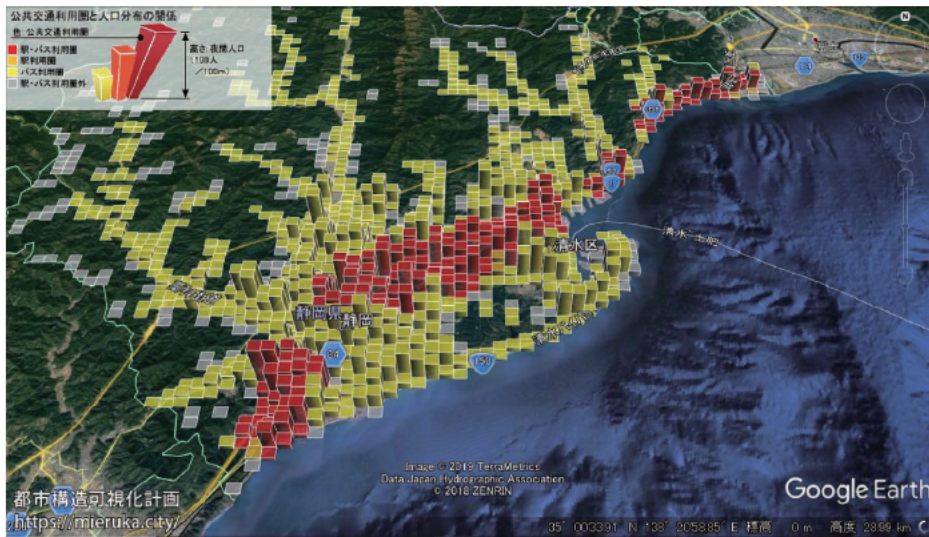
補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 TerraMetrics、Data Japan Hydrographic Association、©2018 ZENRIN、Google Earthを使用

i-都市交流会議2020

4.さらなる活用へ

【交通利用圏と人口分布の関係】

JRと私鉄があり、鉄道駅周辺に利用人口が多くなっている。
山間地の一部を除き、公共交通利用圏は分布している。



補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association, ©2018 ZENRIN, Google Earthを使用

4.さらなる活用へ

【通勤通学に公共交通を使う人の割合】

公共交通利用圏が分布している割には、公共交通を使う人の割合
は大都市に比べて少ない。
→車や自転車で通う人が多い。⇒快適な道路空間が必要。



補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association, ©2018 ZENRIN, Google Earthを使用

6.さらなる活用へ

本市の中でも特に人口が集中している地区を縦断している都市計画道路の新規事業化を今後検討予定である。住民との合意形成を図るうえで、より一層強力なツールにするために交通量の見える化や整備率の見える化等の検討を進めたい。

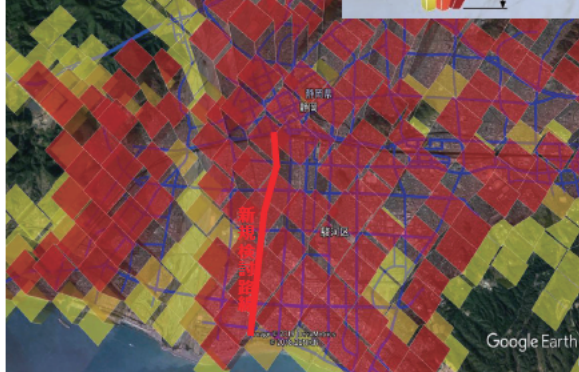
今後も『みちづくり』×『まちづくり』への活用を模索していきたい。

都市計画道路

路線数:134
延長:373km
進捗率:80%



人口分布



補注: 都市構造可視化計画、地図は©2019 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association, ©2018 ZENRIN, Google Earthを使用

静岡市

都市の紹介

